

地理 B 解説

2021/1/11 訂正箇所

第 1 問 世界の自然環境と自然災害

問 1 正解は③

砂漠化の原因には、過放牧、過灌漑、過伐採、過耕作がある。①は過耕作について、②は過灌漑について、④は過放牧とは言い難いが、「草地が再生できなくなる」という記述から、砂漠化が進行すると考えられる。③は木の過剰栽培について述べているが、明らかに誤り。

問 2 正解は④

亜熱帯高圧帯からは、貿易風と偏西風が吹き出している。①・③にある極偏東風は、極高圧帯から吹き出している。

問 3 正解は②

写真 1 中のアは、X 地点のアマゾン川流域の密林(セルバ)であると考えられる。イは、山々が連なっている光景から、Z 地点のヒマラヤ山脈であると考えられる。ウは、Y 地点のサハラ砂漠であると考えられる。

問 4 正解は①

この問題は文脈から判断しよう。 の直前に、「化石燃料」とあるから、石炭などの使用によって起こる大気汚染であると考えられる。 の直前に、「化学物質」とあるから、フロンガスなどの使用によって起こるオゾン層の破壊であると考えられる。 の直前に、「国際取引」とあるから、有害廃棄物の移動であると考えられる。

問 5 正解は③

津波襲来の想定 CG を作成する目的は、住民に想定される被害の程度を知らせることである。①にあるように、「実際の街なみと合成」することで、住民が被害を想定しやすくなるだろう。④にあるように、「避難場所への経路」は、被害の程度を知ること、「ここに津波が来る可能性は低いだろう」と考えることができるため、適切であると考えられる。③にあるような「神社への参拝」は、津波発生時には行わない。③が明らかに誤りである。

問 6 正解は①

表現が少し難しいかもしれないが、教科書からの引用である。リアス海岸の説明である、「山地や丘陵の沈水によって谷の下流域に海水が浸入してできた」は正しい。エスチュアリの説明である、「土砂の運搬量が少ない河川の河口部では、海水が浸入することによって沈水し、ラップ状となった」は正しい。もし、土砂の運搬量が多いと、三角洲になると考えられる。外来河川の説明である、「湿潤地域を源流とする」は正しい。一般的にナイル川の源流と考えられるヴィクトリア湖も、Aw 気候に属し、降水量も多い。

第2問 農林水産業

問1 7 正解は④

①の文は正しい。②の文は正しいが、「家畜の排せつ物を肥料とする」が正しいかわからない場合は保留しよう。③の文は正しい。「三圃式農業」名の通り、3つの圃場(畑)を用意し、夏作物を栽培する圃場、冬作物を栽培する圃場、休閑する圃場と分けると一番効率が良いと考えられる。④の文にある「オリーブ」は、地中海式農業について述べた文である。よって誤り。

問2 8 正解は②

この問題は、第2回試行調査で出題された、「工場の立地」の問題を参考に作成した。また、モデルはチューネンの『孤立国』である。『孤立国』では、問題の＜仮定の条件＞にもあるように、域外と分離された「孤立国」について、農場の立地を考えた。①にあるように、図よりAの方がBより近いことは明らかであるから、正しい。②について、木材は非常に重く、体積が大きいので、林業は市場に近い位置で行われる。よって誤り。③について、①にあるように、Aは市場により近いことから、新鮮さが必要な作物が栽培されると考えられる。鮮度の高いものほど商品価値が高く、輸送の制約が大きい。よって正しい。④は、園芸農業の特徴について書いてある。園芸農業は、需要の高い都市市場への出荷を目的としている農業である。高度な技術・資本が投入されているため、労働生産性ととも土地生産性が高くなる。よって正しい。

問3 9 正解は②

広葉樹は比較的温暖な地域で育ち、針葉樹は寒冷な地域で育つ。気候の特徴から、広葉樹の伐採量が多い国は温暖で、針葉樹の伐採量が多い国は寒冷であると考えられる。また、下の表のように、広葉樹・針葉樹の伐採量を足した値(木材の伐採量という統計になる)を考えると、木材の伐採量が多い順に、アメリカ、インド、中国、ブラジル、ロシア、カナダであるから、①がアメリカ、②が中国、③がインド、④がカナダだとわかる。木材の伐採量の多い国を覚えていない場合は気候でも絞ることができる。インドは基本的に熱帯であり、カナダは基本的に亜寒帯である。この情報から、③はインド、④はカナダであると考えられる。今回のように、足すと知っている統計になるという問題は、試行調査のほか、過去のセンター試験でも問われている。

	広葉樹 の伐採量 (百万m ²)	針葉樹 の伐採量 (百万m ²)	木材の伐採量 (百万m ²)
①	137	283	420
②	237	95	332
③	340	15	355
④	28	127	155

統計年次は2017年。

FAO STATにより作成。

問 4 10 正解は①

食料自給率とは、ある国の国民が食べた食料のうち、自国で生産されたものの割合のことである。①について、米の食料自給率が96%となっていることから、4%は輸入に頼っていると考えられる。よって正しい。②について、豆の自給率が低いのは、外国から安価な大豆が輸入されているためである。よって誤り。③について、野菜類は新鮮さが重要視されるため誤り。④について、1990年に輸入自由化が行われたのは牛肉とオレンジである。

問 5 11 正解は③

バイオ燃料の生産量が多い国がアメリカとブラジルであるとわかっていると2択に絞れるため解きやすいが、知らない場合はサトウキビ・トウモロコシの生産量で考えよう。トウモロコシの生産量が世界で最も多いのはアメリカである。次いで中国、ブラジル、アルゼンチンであるから、③がアルゼンチンである。サトウキビの生産量で考えると、サトウキビは熱帯や亜熱帯で多く栽培される。サトウキビの生産量が多い順にブラジル、インド、中国、タイ、…であるから、②はブラジル、④は中国である。ブラジル・インドのサトウキビの生産量は世界でも特に多い。残ったアメリカとアルゼンチンはトウモロコシで考えよう。

問 6 12 正解は⑥

日本の産業別人口構成について、第一次産業は稲作が盛んな地域、果樹栽培が盛んな地域などを考えるとクであるとわかる。第二次産業は中京工業地帯を考えると、愛知県はトヨタの本社があり、自動車産業が盛んであるから、キであるとわかる。第三次産業はサービス業が主で、大都市圏の中心地で高くなることが考えられるから、力であるとわかる。

第3問 世界の人口、都市、生活文化

問1 13 正解は②

①の文は正しい。ラテンアメリカの国々を見れば容易に想像がつく。よって正しい。②について、旧ソ連であった国を考えると、バルト三国はロシアと同じ言語でないことがわかる。同様にウクライナも同じ言語でない。よって誤り。③の文は正しい。エジプトをはじめ、北アフリカの国々はアラビア語を用いている。よって正しい。④について、中国の人口は14億を超えている。これがわからなくても、中国にはたくさんの自治区があることから、ほかの言語を使用していることが考えられる。

問2 14 正解は③

①の文は正しい。経済水準の低い国は富士山型をとる。②の文は正しい。多産少死になっていくと釣鐘型になる。③について、クはつば型であるから誤りである。④は人口転換について述べた正しい文である。

問3 15 正解は⑥

サはインドのサリーという民族衣装である。シはベドウィン族で着られている衣服である。スはアンデス地方のポンチョである。

問4 16 正解は④

この問題は全統共通テスト模試で出題された問題である。肥満人口の高い国のうち、1つはアメリカであると想像がつくだろう。アルコールの消費量が少ない国は、国民の多くがイスラム教を信仰しているインドネシアとトルコであるから、②、③のいずれかがインドネシアかトルコである。よって①はアメリカに定まり、④が日本となる。

問5 17 正解は④

この問題は全統共通テスト模試で出題された問題が悪問だったので、改題して出題した。都市Aは県庁所在都市であるから、卸売業販売額が多いこと、昼夜間人口比率が100を超える(昼間人口の方が多)ことが考えられるため、チであると考えられる。次にCを考えると、衛星都市であるという記述から、昼夜間人口比率が100を切る(夜間人口の方が多)ことが考えられるため、タであると考えられる。Bには工業が発達しているという記述があるため、そこに働きに来る人も多いと考え、ツであると考えられる。

問6 18 正解は⑤

この問題では都市計画の詳しい内容までを把握しておかなければならない問題であった。aについて、ドックランズは大ロンドン計画によって再開発された都市ではなく、インナーシティ問題の悪化によって再開発された都市である。よって誤り。また、ドックランズはウォーターフロントとしても有名な都市であるため、bは正しい。cについて、ラ・デファンス地区はパリの中心地から3kmほど離れた場所にある。パリの中心地は歴史的建造物の保護がなされているため、この地区では再開発が進み、ビルなどが集積している。よって正しい。

第4問 ラテンアメリカ地誌

問1 19 正解は④

各地点の気候区分を整理しよう。マナオス・ブラジリアはAw, サンティアゴはCs, ブエノスアイレスはCfaである。それぞれのハイサーグラフについて, ①・②がAw, ③がCs, ④がCfaのものであると考えられるから, ブエノスアイレスは④である。①はマナオス, ②はブラジリア, ③がサンティアゴである。ただし, マナオスがAmで, AfとAwの境目のような位置にあることから, ブラジリアよりも降水量が多くなる。

問2 20 正解は③

図中のX地点ではフィヨルドがみられる。同様にニュージーランドの南島でもフィヨルドがみられることを覚えておいてほしい。フィヨルドはU字谷に海水がたまっているため, ③が適当である。

問3 21 正解は①

各国の特徴を整理しよう。ブラジルでは安定陸塊で産出する鉄鉱石が世界2位の産出を誇る。チリやペルーは銅鉱の産出が多い。ベネズエラはマラカイボ油田で産出する原油の産出量が多い。また, ベネズエラはOPECに加盟している。このことから, 原油は②が当てはまり, 銅鉱は④が当てはまり, 鉄鉱石は③が当てはまる。よって石炭は①が該当する。

問4 22 正解は⑤

解説の前に, プライメートシティがある国を整理しておきたい。メキシコのメキシコシティ, 韓国のソウル, タイのバンコクなどが代表例である。aについて, 図から読み取れるようにブラジルよりもメキシコの方が人口集中度が高いため, 誤り。bはプライメートシティの説明である。国の中枢的機能が集中し, 人口が突出して多い都市のことを言うから正しい。cはストリートチルドレンの説明である。貧困のために家庭の保護を受けられない子どもたちのことをいうから正しい。他にも関連する語句にホームレス, インフォーマルセクターなどがある。ホームレスはわかると思うが, インフォーマルセクターは英語の意味の通り, informal…非公式の, sector…経済部門ということで, 路上での靴磨きなどの仕事を行うが, 行政の指導のもとで行われておらず, 国家の統計や記録に含まれないものをいう。

問5 23 正解は③

ブラジルの輸出品目に鉄鉱石が入ってくることを考えるとすぐに答えが導ける。よってPがブラジル, Qが輸出であるから, メキシコはQとなる。

問6 24 正解は②

MERCOSURなどの地域的経済統合は②のように, 複数の国家が統合することで, 政治・経済面でさらなる自由化をはかろうとするものである。

第5問 地域調査(新潟県中越地方)

問1 25 正解は①

①について、経路Cを見ていくと、進行方向左側に川と山を見ることができるから誤り。②～④はすべて正しい。

問2 26 正解は⑥

各地点の特徴を整理しよう。湯沢町は問題文にある通り、冬に季節風の影響を受け、豪雪に見舞われる。よって湯沢町は冬の日照時間が短いだろうと考え、ウが該当する。次に浜松市について考えると、浜松市などの太平洋沿いでは、夏に季節風の影響を受け、多雨に見舞われる。また、梅雨の影響が大きく、6月の日照時間が短くなる。よってアが該当する。残ったイが松本市である。

問3 27 正解は③

目盛りがなく、迷惑をかけたこととお詫びいたします。折れ線グラフについて、上にあるものが値が大きいということであるから、観光客数の合計だろうと考える。①について、スキー観光客数と観光客数の合計はほぼ比例している。よって正しい。②について、1992年のピークを境に減少しているのので正しい。③について、ピークを境に減少しているため、今後も減少していくと考えるのが妥当である。よって誤り。④について、1984年～1992年の間の傾きの値は、見た目で大きいから、正しい。

問4 28 正解は④

①について、1970年と2019年を比較すると、新潟県が全国の出荷額に占める割合は増えてきていることが読み取れるため正しい。②について、2019年の出荷額をみると、新潟県が半分以上を占めているが、産出事業所数ではとても少ない。よって正しい。③について、1970年から2019年にかけて産出事業所数は減少してきている。よって正しい。④について、図中の期間において、産出事業所数は徐々に減ってきているが、出荷額は1980年から2019年までの間に大きな変化はみられない。出荷額と産出事業所数との相関関係はないと考えられる。よって誤り。

問5 29 正解は②

図から①・③・④について、死者数、マグニチュード、津波の情報は得られないため、誤りである。また内陸で発生した地震のため、津波は発生していない。②について、新潟県以外の都道府県でも、震源地付近であるならば揺れを観測するため、正しい。

問6 30 正解は④

①について、消防本部庁舎や防災公園は普通、自治体に複数設置するものではないため、集約しているといえるだろう。よって正しい。②は、防災公園の役割についてである。防災公園が周りになれば想像しにくいかもしれないが、【資料】より、防災の拠点として活躍することがわかるため、正しい。③も【資料】より、普段はにぎわいの場であることから、正しい。④について、ハローワークがこの地区にあるのは、災害時の職探しのためではないことは明らかであるため、誤り。